

福祉サービス第三者評価 評価結果

合歡の木保育園

横浜市保土ヶ谷区神戸町 140-6

運営主体：社会福祉法人 神奈川厚生福祉会

実施概要	1 ページ
総合評価（評価結果についての講評）	2～3 ページ
評価領域ごとの特記事項	4～5 ページ
分類別評価結果	6～14 ページ
利用者家族アンケート分析・集計結果	15～22 ページ
利用者本人調査分析	23～25 ページ
事業者コメント	26 ページ

2007年7月27日作成

実施機関：特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

実施概要

事業所名	合歓の木保育園	
報告書作成日	2007年7月27日	評価に要した期間 約5ヶ月間
評価機関	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま	

評価方法

<p>1、自己評価</p> <p>実施期間:2007年2月中旬～4月17日</p>	<p>職員会議・園内研修で趣旨等を説明し、勉強会を数回実施。その後、常勤・非常勤全ての職員それぞれが自己評価票を持ち帰り、記入した。</p> <p>各個人が記入したものを持ち寄り、常勤職員の全体会議を開き意見交換を行った。</p> <p>最終的に、園長・保育主任がまとめた。</p>
<p>2、利用者家族アンケート調査</p> <p>実施期間:2007年4月20日～5月10日</p>	<p>全園児の保護者(77家族)に対して保育園側から手渡し。各保護者より、同封の返送用封筒にて、評価機関宛に無記名で返送。</p>
<p>3、訪問実地調査</p> <p>実施日:第1日 2007年6月11日 第2日 2007年6月19日</p>	<p>[第1日]</p> <p>午前:各クラスにて観察調査 昼食:各クラスにて観察調査(園児と一緒に給食をいただく) 午後:書類調査及び園長・保育主任と事業者面接調査。その間、適宜観察調査を行った。</p> <p>[第2日]</p> <p>午前:各クラスにて観察調査 昼食:各クラスにて観察調査(園児と一緒に給食をいただく) 午後:各クラス担任保育士6名、看護師、栄養士及び非常勤職員2名と面接調査。その後、園長・保育主任と事業者面接調査。その間、適宜観察調査を行った。最後に意見交換を行い、終了。</p>
<p>4、利用者本人調査</p> <p>実施日:第1日 2007年6月11日 第2日 2007年6月19日</p>	<p>観察調査は、調査員が各クラスに分かれて実施。園外への散歩にも同行した。</p> <p>聞き取り調査時は、主に年長児を対象として、上記観察調査時及び昼食同席時に、適宜実施した。</p>

総合評価（評価結果についての講評）

【施設の概要】

合歓の木保育園は、相鉄線星川駅から徒歩約7分、住宅街の中にあります。隣接して障害者地域活動ホームがあり、通りを隔てて、横浜ビジネスパーク（再開発地区）が広がっています。園舎は鉄筋コンクリート2階建てで、1階・2階にそれぞれ広いホールがあり、屋上はクローバー等が植えられた緑化庭園となっています。子どもたちの動きを考えて細部までよく工夫されたつくりになっています。

定員は90名（0～5歳児）、平日の開園時間は7時～20時です。社会福祉法人神奈川厚生福祉会により、2006年（平成18年）4月に開設されました。

神奈川厚生福祉会は、1962年（昭和37年）に、同じ区内の明神台で、日本住宅公団の団地内保育所が設立されたのが始まりで、社会福祉法人厚生福祉会を経て、社会福祉法人神奈川厚生福祉会となり、現在は、明神台保育園と当園を運営しています。無認可保育所時代を含めると、約45年の実績があります。

基本理念は、「子どもの人権や主体性を尊重し、児童の最善の幸福のために保護者や地域社会と力を合わせ、児童の福祉を積極的に推進し、あわせて地域における子育て支援を行う」としています。この理念のもと、保育目標として、「健康で明るく 豊かな感性をもつ子ども」「友達と仲よく遊び 思いやりのある子ども」「のびのびと 自己を表現できる子ども」の3つを掲げています。

各クラスには、子どもたちの成長を願うユニークな名前が付けられ、例えば、5歳児クラスは、「ばたばたと、大空を飛ばたく鳥の様に、のびのび成長してほしい」という意味を込めて、“ばたば”としています。

高く評価できる点

1、子どもたちは、のびのびと元気に、園生活を楽しんでます

子どもたちが自由に遊ぶ時間が十分に確保されています。保育室や2階のホール、テラスで、様々なおもちゃを使って遊んだり、鬼ごっこをしたり、クライムネット（ロープを網状に組んだもの）を昇り降りしたり、自由に過ごしています。園庭では、裸足になって、汚れを気にせず色水遊びをしたり、砂場で山をつくったり、トンネルを掘ったりしています。保育士も裸足になって子どもたちの仲間入りをしています。子どもたちの自主性に任せ、保育士は危険のないように見守っていますが、見本をさりげなく見せ、子どもたちが、もっと良いもの・工夫をこらしたものに挑戦できるように配慮しています。遊びの後の片付けも、命令口調ではなく、「いっしょにやろう」という雰囲気です。

また、3～5歳児は、月2回、異年齢児との交流を図る縦割り保育の日があります。大きい子は小さい子の世話をし、やさしく接することを学んでいます。日々の保育の中でも、一緒に散歩や誕生会を行うなど、異年齢児と触れ合う機会を多くしています。このような結果、例えば散歩で一緒になる時、大きい子が車の通る側を歩いて小さい子を内側にする等の行動が、身についています。

園庭では、稲を植え、なす・きゅうり・トマト等の野菜を育てています。また、調理体験として、ピザ・豚汁・ケーキ・餃子・うどん、さらには、味噌や梅ジュースも作っています。旬の食材を知るということで、竹の子やそら豆の皮むき等もしています。これらの体験を通じて、子どもたちが食への関心を持つようになっています。

2、職員間の連携が良好です

一人ひとりの子どもの様子や状況等を、職員会議・保育打ち合わせ・園内研修等、あらゆる機会を捉えて、全職員が把握し、情報を共有するようにしています。また、早朝や延長保育の時の子どもの様子は、引継ぎノートと口頭でしっかりと伝達され、通常保育中の保育士間の連携もスムーズに行われています。また、園長と保育主任の役割分担が明確であることも、情報の共有化・連携の良さにつながっています。

職員間の連携が良いことの背景には、月1回の園内研修の存在があります。保育の上で困っていることや悩んでいること等も取り上げられ、ベテラン保育士も若手保育士も区別なく、皆で自由に議論できる雰囲気があります。また、ベテラン保育士からは、系列の明神台保育園における経験等も伝えられ、日々の保育に活かされています。

情報の共有により、子どもたちの健康や安全にも十分に目が行き届いた、親が安心して預けられる保育が行われています。

力を入れて取り組んでいる点 保護者との良い関係づくりに努めています

毎日の園での子どもたちの様子を、連絡ノートやクラスノートで伝える他、迎えの際に、保育士はできるだけ保護者に直接伝えるようにしています。また、毎月発行する園だよりには、さまざまな情報を載せています。さらに、週1回、保育参加の日を設け、保護者の都合の良いときにいつでも参加できるようにしています。保護者が子どもたちの園での生活を知り、保育方針を実感するだけでなく、保育士が保護者の育児姿勢や考え方をすることもでき、お互いをより良く理解し合う機会となっています。

保護者の要望や意見は、日々の送り迎えの際や、クラス懇談会や個人面談の時に聞く他、「貴方の声を聞かせて下さい」のアンケート用紙を配布し、記入してもらっています。一人ひとりの子どもに対する園での過ごし方への要望等には、できるだけ対応するように園は努力しています。さらに、個々の家庭の状況に配慮した保護者への支援を充実させると、保護者の要望に、より一層沿うことができると考えます。また、アンケートに見られる園全体に係わる要望等には、各クラスの保護者代表と話し合う機会を設ける等の工夫をすることで、さらに一步踏み込んで、園と保護者が密接な連携を保ち、より良い保育園を築いていく体制を整えることを期待します。

改善や工夫が望まれる点

1、地域との連携強化

地域の子育て支援として、一時保育・園庭開放・育児相談・育児講座を行い、敬老の日やもちつき大会に地域の住民やお年寄りを招待する等、地域との結びつきに努力しています。しかし、これらの取り組みに関する情報は口コミによることが多く、知る人は限られた範囲にとどまっています。開園後2年目と日が浅く、体制が整わなかった面もありますが、今後は、より多くの人々に園の活動を知ってもらう工夫が望まれます。隣にある障害者地域活動ホームと連携して行事を企画すること等も、有効な手段と考えられます。

また、地域の人々の中には、さまざまな経験や特技等を持つ方が居られます。このような方がボランティアとして保育園に来てくれると、子どもたちは新たな経験をしたり、遊びを覚えたりすることができます。さらに、ボランティアの気付きや意見は、外部からの貴重な指摘としてサービスの向上に役立っていくと考えられます。園としてのボランティアに対する考え方・方針を確立することが望まれます。

2、職員一人ひとりの資質向上へのきめ細かい対応

園内研修や外部研修により、職員の技術向上等を図っていますが、一人ひとりの職員に対するきめ細かい取り組みがやや不足です。新人保育士・中堅保育士・クラスリーダー保育士・主任保育士それぞれの経験年数や習熟度に応じた保育技術・能力・役割などの期待水準を明文化し、一人ひとりの職員の目標を明確にすることが望まれます。これにより、どのように資質向上に取り組んだら良いかを職員自身も判断できるようになり、毎年度、園長との面接時に行う課題設定もよりの確なものとする事ができます。

さらに、新人研修・中堅研修・主任研修等、一人ひとりのきめ細かい研修計画を策定すると、より効果的な人材育成ができると考えます。

評価領域ごとの特記事項

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構が定めた「評価領域」に則って、記載しています。

1、人権の尊重

- ◇ 基本理念に、「子どもの人権や主体性を尊重すること」を掲げています。
- ◇ 個人情報の取扱いについてのマニュアルがあり、全職員に周知しています。保護者にも説明し、了解を得ています。

2、意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- ◇ 園舎はどの部屋も採光・通風等に配慮した設計となっており、常に清潔に保たれています。
- ◇ 子どもたちが好きな遊びを十分に楽しめる時間が確保されています。
- ◇ できるだけ外遊びや散歩を取り入れ、健康増進・体力づくりを図っています。
- ◇ 子どもが育てた野菜を給食の食材として取り入れたり、竹の子やそら豆の皮むきなど旬の食材に触れさせたり等、食への関心を高めるように工夫しています。
- ◇ 写真サンプルの掲示やレシピを用意して、保護者に、園で提供する食事への関心を促しています。
- ◇ 職員間の連携が良く、子どもたちの健康や安全にも十分に目が行き届いた、親が安心して預けられる保育が行われています。

3、サービスマネジメントシステムの確立

- ◇ 保育計画は、地域の実態や保護者の就労状況等を考慮して、作成しています。
- ◇ 子どもが自由に過ごせるように見守る姿勢を大切に、子ども一人ひとりに合わせた保育内容となっています。
- ◇ 指導計画の作成・評価・改訂は、担任や関係する職員が参画し、アンケート等さまざまな形で保護者の意向を把握しながら行っています。
- ◇ 特に配慮を要する子どもや障がい児に対する保育について、地域療育センターと連携して、定期的な勉強会を行っています。
- ◇ 園の苦情解決システムについて、入園のしおりに記載し、保護者に周知しています。
- ◇ 健康管理・感染症対策・衛生管理マニュアルがあります。
- ◇ 出入り口に電子錠を設置する等、不審者等の侵入防止策を講じています。
- ◇ 日常の保育の様子を写真にとり、園内に掲示したり、クラス毎の懇談会で保育の様子を保護者に伝えたりしています。
- ◇ 保護者との良い関係づくりに努めています。

4、地域との交流・連携

- ◇ 一時保育・園庭開放・交流保育を行っています。園庭開放では、1・2階のホールや屋上も使うことができます。
- ◇ 敬老の日に地域のお年寄りを招待したり、やき芋といも煮会・もちつき大会等に近隣の住民を招待したりしています。
- ◇ 中高校生の体験学習を受け入れる等、学校教育との連携を図っています。
- ◇ 地域との連携を、より一層強化することが望まれます。

5、運営上の透明性の確保と継続性

- ◇ 守るべき法・規範・倫理等は、就業規則や業務マニュアル等に記載しています。
- ◇ 理念・基本方針を職員会議で説明し、職員に周知している他、年度末の園長と職員の面接の際に確認しています。

◇ さまざまな状況変化（補助金削減、保護者の意識変化等）のもとで、保育の質の確保・向上を園全体の課題とし、取り組んでいます。

6、職員の資質向上の促進

- ◇ 毎月1回、常勤職員による園内研修を行う他、年2~3回、非常勤職員も含めた園内研修を行っています。
- ◇ 市主催の研修会等の外部研修へ、常勤職員・非常勤職員ともに参加しています。研修報告書を作成し、職員会議で報告するとともに、全職員に回覧し、共有できるように工夫しています。
- ◇ 各職員が自主的に業務に取り組めるように、可能な限り、権限を委譲しています。
- ◇ 職員の経験年数や習熟度に応じた保育技術・能力・役割などを、期待水準として明文化するとともに、一人ひとりに対するきめ細かい研修計画を立てることが望まれます。

当評価機関では、「障害」を「障がい」と表記します。

分類別評価結果

横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。









「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。

3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある


評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。

評価領域 利用者（子ども）本人の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本理念に、「子どもの人権や主体性を尊重すること」を掲げ、利用者本人を尊重した保育目標となっています。 ・保育の基本方針に沿って保育が行われ、子どもが自由に過ごせるように見守る姿勢を大切にして、子ども一人ひとりにあわせた保育内容となっています。 ・保護者の就労状況などの実情を考慮して、保育計画を作成し、年間行事予定は年度初めに保護者に伝えるなどの配慮をしています。 ・指導計画は、子どもの自主性・主体性を育て、発揮できるようになっています。また、子どもたちの様子を見極めながら、クラス全体での動きにも反映させ、柔軟に指導計画を見直しています。
<p>- 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園前説明会では、子ども連れで来てもらっています。母親との面接中、父親と遊ぶ子どもの様子を見たり、保育士が子どもを遊ばせて観察をしたりすることで、子どもの発達状況などを把握しています。 ・新入園時には、短縮保育について保護者へ十分に説明しています。乳児クラスでは、場合により入園前でも各クラスに入り、少しずつ慣れるように配慮しています。 ・指導計画の作成には、担任や関係する職員が参画し、アンケートなど様々な形で、保護者の意向を把握しながら、計画の評価・改訂を行っています。
<p>- 3 快適な施設環境の確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園の屋内・外とも清掃が行き届いています。遊んだ後は、子どもにも手伝わせながら片付けるように心がけ、常に清潔に保っています。また、園舎はどの部屋も採光、通風等に配慮した設計となっています。 ・0歳児室には、中小2つの沐浴設備を設け、幼児室の外には、戸外遊びや散歩後に足を洗う温水シャワーをテラスに設置し、必要に応じて、子どもの身体を清潔にできるようになっています。 ・1階にある乳児室の前のテラスは、園庭に接しており、乳児と園庭で遊ぶ幼児とのふれあいの機会が多くなるように工夫されています。また、1階・2階それぞれのホールも、異年齢児交流の場として活用

	<p>されています。</p>
<p>- 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の目標・計画は、定期的に職員会議で取り上げ、職員が意見を出し合い、一人ひとりの子どもの発達状況に合わせ、柔軟に変更・見直しを行っています。 ・全園児に個人ファイルを用意しており、子どもや家庭の状況や要望、入園後の成長記録も記載しています。また、重要な申し送り事項は、進級時に伝達しています。 ・個別指導計画の作成・見直しにおいて、重要部分を保護者に説明し、同意を得て、園と保護者が子どもの発達状況などの情報を共有することが望まれます。
<p>- 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮を要する子どもについては、職員会議で取り上げ、個別のケースの情報を共有しています。 ・配慮を要する子どもや障がい児に対する保育について、地域療育センターと連携し、定期的な勉強会を開催しています。 ・特に重度のアレルギーのある子どもはいませんが、職員会議の中で除去や食事について、定期的に打ち合わせを行い、全職員にアレルギー疾患についての必要な知識や情報を周知しています。 ・外国籍の子どもは在籍していますが、日常の保育で特別な配慮を必要としていません。外国籍の子どもとの保護者との間などで、意思疎通が難しい場合には筆談を使うなどの配慮をしています。
<p>- 6 苦情解決体制</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園の苦情解決システムについて、入園のしおりに記載し、保護者が第三者委員に直接苦情を申し立てることができるようになっています。 ・第三者委員に理事会に参加してもらい、意見を交換したり、情報を共有したりしています。 ・意見箱・懇談会・アンケート等で進んで保護者からの要望や苦情を聞き、年に1~2回結果をまとめたものを、保護者に知らせています。 ・要望や苦情について、職員会議で取り上げ、記録したデータは研修で取り上げ、その後のトラブル解決に活かしています。

評価領域 サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="161 344 472 383">- 1 保育内容[遊び]</p> 	<ul data-bbox="600 259 1474 1227" style="list-style-type: none">・ 保育室には、敷物を敷いた場所や、押入れの下の空間等、少人数で落ち着いて遊べるコーナーがあります。・ 年齢に応じて、好きな絵本、おもちゃ、素材等を自由に選べるようになっており、子どもたちは自分の好きな遊びを楽しんでいます。・ 自由遊びでは、一人ひとりの興味や関心を大切にして、子どもの好みに応じた遊びができるように保育士が援助しています。・ メダカ、ザリガニ、ヤゴの飼育や、野菜、稲の栽培を通して、子どもたちは、育てることの喜びを知り、命の大切さを身近に感じています。・ 月2回、異年齢児との交流を図る縦割り保育の日を設けて、ままごとや椅子取りゲームをしています。それ以外にも一緒に散歩や誕生会を行うなど、異年齢の子ども同士が関わりを持てるように配慮しています。・ 異年齢の子どもたちが交流しやすいように、ホールを真ん中にしてその周りに保育室を配置したり、ベランダを歩いて行き来できるようにしたり、工夫を凝らしています。・ 年間を通してお天気のよい日は、散歩、園庭や屋上での遊び等、外遊びを積極的に取り入れ、体力の増進をはかっています。また、屋上全体を緑化し、自然の原っぱのようにしてあり、子どもたちは、裸足で走りまわったり、クローバーの花飾りを作ったりしています。・ 保育士は常に子どもたちに穏やかに対応し、子どもたちとの暖かい信頼関係がうかがえます。

- 1 保育内容[生活]



- ・子どもたちが食事やその過程に関心を持つように、子どもが育てた野菜を給食の食材に取り入れたり、竹の子やそら豆の皮むきなど、子どもを調理に参加させたりしています。旬の食材に触れさせるとともに、自分から食べようとする意欲や行動を大切にしています。
- ・食事の時に、テラスを使ってピクニックの気分を出したり、行事の時に異年齢児の会食会を設けたりし、食事の場としての雰囲気づくりに配慮しています。
- ・職員会議に栄養士も参加し、子どもの食事の好みについて話し合う他、給食日誌に残食の量や子どもが食べた時の様子を記録し、献立・調理の工夫に反映させています。
- ・食事の写真サンプルを掲示したり、レシピを用意したりし、保護者に園の食事に対する関心を促しています。また、保育参加の時には、保護者が子どもと一緒に給食を食べ、試食できる機会があります。
- ・離乳食を始めるときは、子どものペースに合わせ、保護者と相談しながら進め、2回食のはじめの日には、保護者に来園して携わってもらっています。
- ・午睡の時は、子どもが安心して眠れるよう静かに音楽を流しています。また、午睡は強要せず、子どもの状態に応じて、30分くらいは静かに横になるように促したり、年長児は12月頃から、午睡のない日をつくったりしています。
- ・一人ひとりの排泄のリズムをとらえ、個人差を尊重し、発達に応じて、保護者と連携しながら支援しています。

- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]



- ・園での子どもの健康状態は、連絡ノートへの記載と口頭での伝達により保育士間で引継をし、降園時に対応する保育士が保護者に伝えていきます。
- ・健康診断・歯科健診の結果は、健診個人結果表に記入して保護者に伝え、連携を密にしています。
- ・感染症等の発生については、登園停止基準や対応の仕方についてマニュアルがあり、入園のしおりに記載し、保護者に周知しています。また、感染症が発生したとき等は、保育室にお知らせを掲示したり、ほけんだよりに、症状や対応の仕方などの情報を載せたりして、保護者に情報を提供しています。

- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]



- ・衛生管理マニュアルがあり、年2~3回の職員研修の中で取り上げて内容を共有している他、必要に応じて常に見直しをしています。
- ・マニュアルに基づき清掃等を行い、業者に依頼して定期的に害虫駆除をするなど、清潔・適切な状態が保たれています。

- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]



- ・事故や災害に備えて、毎月テーマを決めて、通報・連絡の予行演習、地域の避難場所への誘導などの訓練を実施しています。
- ・子どものケガについては、小さなけがの場合、病院で受診した場合、それぞれについて記録し、軽傷であっても必ず保護者に状況を報告している。
- ・電子錠の設置など、不審者等の侵入防止策を講じています。
- ・不審者等が侵入した場合の、職員間の緊急連絡方法等の確立が望まれます。

- 3 人権の尊重





- ・子どもに対して、命令口調など威圧的な言葉遣いや無視が行われないうちに、職員間で相互に配慮しています。また、保育士はせかしたり強制したりせず、おだやかに分かりやすい言葉を使い、子どもの心を受け入れるように配慮しています。
- ・押入れの下をカラーのビニールテープでのれん風にするなど、友達や保育士の視線を意識せず過ごせる空間づくりを工夫しています。
- ・個人情報の取り扱いについて、マニュアルがあり、全職員に周知し、保護者にも説明し了解を得ています。
- ・園内研修で、性差で区別しないように周知し、無意識に性差による固定観念で保育をしていないか、職員同士で反省する仕組みをつくっています。

- 4 保護者との交流・連携






- ・保護者が保育の基本方針を理解できるように、入園のしおりに保育目標や保育姿勢を記載したり、保育参加の機会を設けたりしています。
- ・乳児クラスは連絡ノートに、幼児クラスはクラスノートに情報を書き込み、保護者と情報交換を実施しています。
- ・保護者からの相談は、主任が窓口ですが、担任が受けた場合にも適切に対応できる体制になっています。また、相談は記録し、必要に応じて職員会議で取り上げ、継続的なフォローができています。
- ・クラス毎の懇談会などで、日常の保育の様子をわかりやすく説明し、情報提供を図っています。
- ・日常の保育の様子を写真にとり、保護者に伝える努力をしています。
- ・年間行事予定は、年度初めの「おたより」に載せ、保護者が保育参加等のための予定を立てやすくしています。
- ・園と保護者双方の理解を深めるため、各クラスの保護者代表と話し合うなど、工夫が望まれます。




評価領域 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園庭開放や交流保育等で来園する人々に声掛けする等により、子育て支援に対するニーズを把握しています。 ・ 一時保育、園庭開放、交流保育を行っています。 ・ 園庭開放では、1・2階のホールや屋上も使うことができます。 ・ 園庭開放の際に何をやるか等、職員会議で話し合い、幼児体操や身長・体重測定を取り入れています。
<p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園庭開放のパンフレットを作成している他、区役所のネット情報で園からの情報を周知しています。 ・ 地域の自治会や老人会等に、園の行事を案内しています。 ・ 相談内容に応じて連絡すべき関係機関・団体等の情報を、全職員が把握しています。 ・ 療育センター等、他の機関との連携に努めています。 ・ 定期的な育児相談日は設けていませんが、いつでも相談に応じられる体制にあります。しかし、その情報を地域住民に周知していないので、伝達の工夫が望まれます。




評価領域 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 敬老の日に地域のお年寄りを招待したり、やき芋といも煮会・もちつき大会等に近隣の住民を招待したりしています。 ・ 中高校生の体験学習を受け入れる等、学校教育との連携を図っています。 ・ 園の通用門の脇を、近隣のゴミ収積場として提供したり、地域での行事に園長が出席したりする等、近隣との友好的な関係を築くための取り組みを行っています。 ・ 近隣の公会堂での子ども祭りや映画会に参加したり、図書館を利用したりしています。 ・ 散歩のとき、子どもたちは地域の人たちと、気軽に挨拶を交わしています。 ・ 幼保小教育連携事業で、近隣の小学校でのプールで遊ぼう会や給食交流等へ園児が参加しています。また逆に、小学生が来園し、スポーツフェスティバル（運動会）に踊る音頭を披露してくれ、子どもたちがスポーツフェスティバルを見に行くように関心を促してくれることもあります。 ・ 地元の神社での七五三祝いに、4・5歳児が参加し、地域との交流を図っています。 ・ 自治会・町内会や地域の団体・機関等と協力して行事を行う等、定期的・計画的な交流を図ることが望まれます。
<p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園のパンフレット等で、情報を提供しています。 ・ 市・区の保育園紹介ホームページに情報を提供しています。 ・ 利用希望者に対し、園のパンフレットや入園のしおりに基づき、説明しています。 ・ 見学日時は、できるだけ希望者の都合に合わせています。 ・ 見学時に、園児と一緒に遊ぶこともできます。
<p>- 3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習生の受け入れを、あらかじめ職員や園児・保護者に伝えていきます。 ・ 受け入れの担当は主任であり、受け入れ時の記録は整備しています。 ・ 中高生の体験学習を受け入れています。 ・ 大学生・専門学校生等の実習は、先方の要望に沿うようにプログラムを組み、できるだけ導入から展開まで、一通りの経験をさせるように工夫しています。 ・ ボランティア受け入れの基本的な考え方や方針を確立することが望まれます。 ・ ボランティア受け入れのマニュアル等は作成されていません。

評価領域 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年度末に、園長が職員と面接し、その年度の達成度評価と次年度の目標について話し合っています。 ・ 毎月1回、常勤職員による園内研修を行っている他、年2～3回、非常勤職員も含めた園内研修を行っています。 ・ 市主催の研修会等の外部研修へ、常勤職員、非常勤職員ともに参加しています。 ・ 研修報告書を作成し、職員会議で報告するとともに、全職員に回覧し、共有できるように工夫しています。 ・ 人材育成計画を策定することが望まれます。
<p>- 2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ クラスリーダー会議・園内研修等で、保育技術について話し合い、質の向上を図っています。 ・ 園内研修等で、保育に関し、今困っていること、悩んでいること等を話し合い、一層の保育サービス向上につなげています。 ・ 外部から保育の技術の評価・指導等を受ける仕組みを取り入れることが望まれます。
<p>- 3 職員のモチベーション維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各職員が自主的に業務に取り組めるように、可能な限り権限を委譲しています。 ・ どのように園内研修を実施するか（テーマ、やり方等）について、職員からアンケートを取っています。 ・ 年に2、3回、必要な備品・物品等を職員からリストアップしてもらっています。 ・ 毎年度末、園長と職員との面接時に、職員の満足度・要望等を把握しています。 ・ 職員の経験年数や習熟度に応じた保育技術・能力・役割などを、期待水準として明文化することが望まれます。

評価領域 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 守るべき法・規範・倫理等を、就業規則や業務マニュアル等に記載しています。 ・ 経営・運営状況等の報告を職員会議で行うとともに、資料は職員の誰もが見ることができるように書架に備えています。 ・ 他保育園での苦情等の情報を、園内研修等で取り上げ、職員に周知しています。 ・ コピーは、原則として両面コピーにしています。また、裏紙を利用する等、ゴミ減量化に配慮しています。 ・ 屋上緑化を行っており、2階の室内温度調整のためのエネルギー使用量が少なく済んでいます。 ・ 2階のホールの天井には、明り取り窓があり、省エネルギーの設計となっています。 ・ 環境への考え方、取り組み等を、事業計画・運営方針等に明文化し、運営に活かすことが望まれます。
<p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理念・基本方針を、事務室や各保育室等に掲示しています。 ・ 理念・基本方針を職員会議で説明し、職員に周知しています。 ・ 年度末の園長と職員との面接の際に、理念・基本方針の理解度を確認しています。 ・ 園長は、保護者懇談会に出席する等、保護者と様々な意見交換を行い、意思の疎通を図っています。 ・ 土曜保育の必要性を判断するため、保護者の勤務状況を把握する際に、保護者に目的等十分な説明を行った後、実施しています。 ・ 主任は、できるだけ保育の現場に入って、職員の日常業務を把握するように努めています。 ・ 主任は、クラスの雰囲気や子どもたちの様子から判断し、必要に応じ職員に助言や指導を行っています。 ・ 主任は、職員から個人的な悩み事の相談もされる等、職員から信頼されています。
<p>- 3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業運営に影響のある情報は、市・区役所、市社協、私立保育園園長会等から得ています。 ・ 建て替え・大規模改修等、将来必要になると思われる出費に備えての対応を、重点課題として設定しています。 ・ さまざまな状況変化のもとで（補助金削減、保護者の意識変化等）、保育の質の確保・向上を園全体の課題とし、取り組んでいます。 ・ 理事として、外部の学識経験者等があり、運営に関し意見交換しています。 ・ 中長期的な計画を策定することが望まれます。

利用者（園児）家族アンケート 分析

- 1、実施期間 2007年4月20日～5月10日
- 2、実施方法 保育園から全園児の保護者に直接配付（手渡し）
各保護者より、同封の返送用封筒にて、評価機関宛に無記名で返送
- 3、回収率 55.8%（77枚配付、43枚回収）
- 4、所属クラス 0歳児クラス...4人、1歳児クラス...9人、2歳児クラス...9人、3歳児クラス...5人、
4歳児クラス...11人、5歳児クラス...5人

ただし同一家族で複数名が園に在籍の場合は、下の子どものクラスについて回答。

設問ごとの特徴

【問1】保育目標や保育方針

80%以上の保護者が「知っている」と答えています。「知っている」と答えた保護者のほとんどが「賛同できる」と答えています。
数値は、「よく知っている」「まあ知っている」をあわせたもの
「のびのびと育つ子ども」「元気でやさしい子ども」という保育目標に賛同の声があります。

【問2】入園する時の状況

「子どもの様子や生育歴などを聞く対応」「費用やきまりに関する説明」は、約90%の満足度があります。「見学の受け入れ」は、“新設園のため見学ができなかった”等、「その他」回答が多くなっています。
数値は「満足」「どちらかといえば満足」をあわせたもの（以下同様）

【問3】年間の計画

「年間の保育や行事の説明」については90%弱、「保護者の要望が活かされているか」については70%強が満足していると答えています。
“年間を通して子どもにとって楽しい行事が組まれている”という声があります。

【問4】日常の保育内容

「遊び」については、全設問で85%以上が満足していると答えています。“園庭が狭い”、“遊具が少ない”という意見もありますが、近くの公園や、園庭・ホール・テラス・屋上等での遊びに、満足している様子がうかがえます。
「生活」については、給食に関する設問で90%以上が満足していると答えています。「ケガに関する説明やその後の対応」では、“もっと詳しく伝えてほしい”という意見があります。

【問5】快適さや安全対策

「感染症に関する情報提供」は、100%が満足しています。

【問6】保護者との連携・交流

「園だよりや掲示による情報提供」については、100%近くの保護者が満足していると答えています。「送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明」では、“もう少し説明があるととっても良い”“どんなことでもよいから伝えてほしい”という声があります。

【問7】職員の対応

「子どもが大切にされているか」「園生活を楽しんでいるか」の設問では90%以上の保護者が満足していると答えています。「話しやすい雰囲気、態度であるか」「意見や要望への対応」でも85%以上と高い満足度を示しています。

【問8】総合評価

91%の保護者が満足していると答えています。

【問9】園への要望

“週末に布団を持ち帰るのが大変で負担になる”や、“土曜保育の際に、就業証明書の提出を義務化するのは疑問だ”といった意見があります。

まとめ

- ・保護者は子どもの園生活について、「遊び」や「給食」を中心に満足しています。子どもたちが職員に大切にされ、園生活を楽しんでいる様子がうかがえます。
- ・園の理念や基本方針についても保護者から理解を得ています。
- ・保護者に対する職員の対応も良く、「話しやすい雰囲気、態度であるか」「意見や要望への対応」の項目は約90%近い満足度が得られています。一方、布団の持ち帰り、土曜保育の書類提出等に関して要望のあることがアンケートから伺えますので、園と保護者とのコミュニケーションの工夫が必要と思われます。

利用者（園児）家族アンケート集計結果

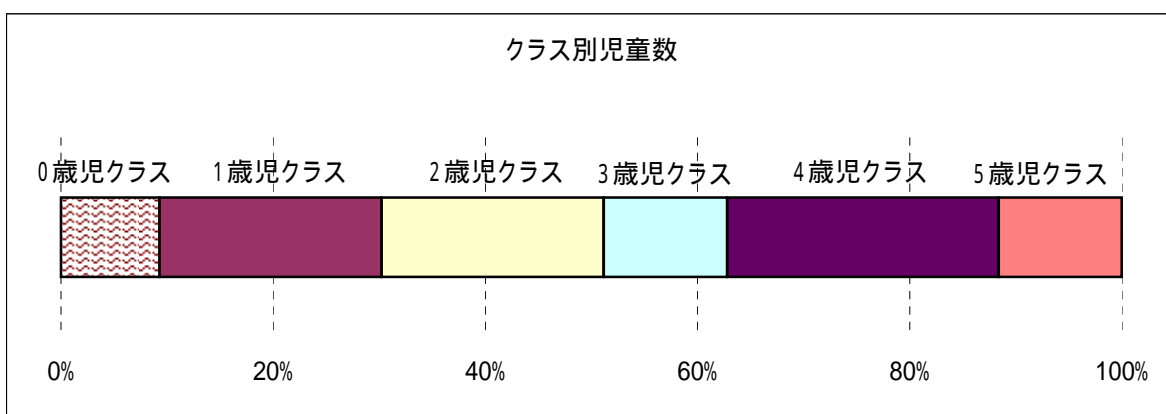
実施期間： 2007年 4月20日～5月10日

回収率： 55.8%（回収43枚 / 配布77枚）

【属性】

クラス別児童数 同一家族で複数名が園に在籍の場合は、下の子どもで計 (人)

合計	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答
43	4	9	9	5	11	5	0



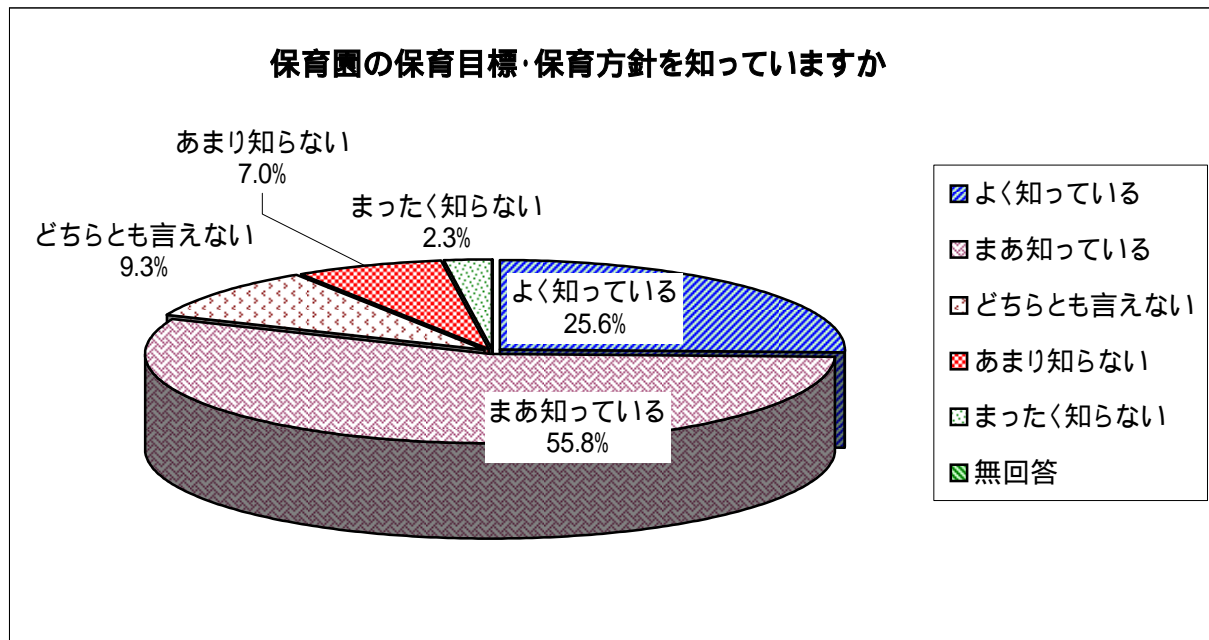
保育園の基本理念や基本方針について

問1: 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか

(%)

問1:	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか	25.6	55.8	9.3	7.0	2.3	0.0	100

(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)

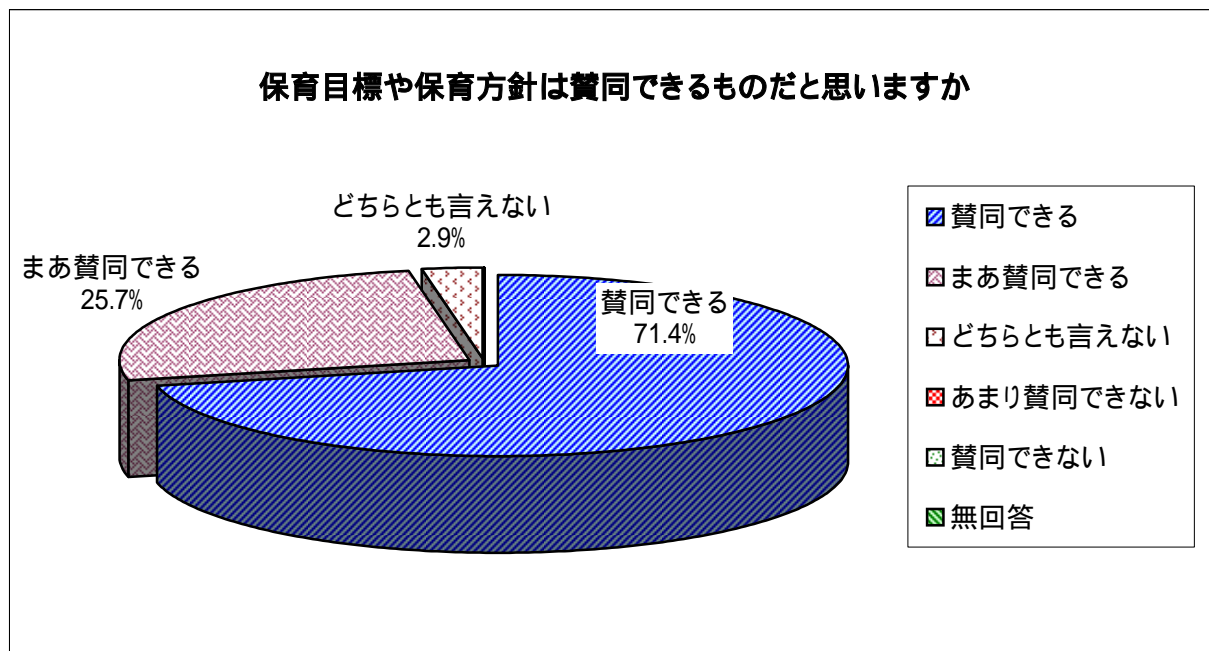


「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

付問1: その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

(%)

付問1:	賛同できる	まあ賛同できる	どちらとも言えない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答	計
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	71.4	25.7	2.9	0.0	0.0	0.0	100



保育園のサービス内容について

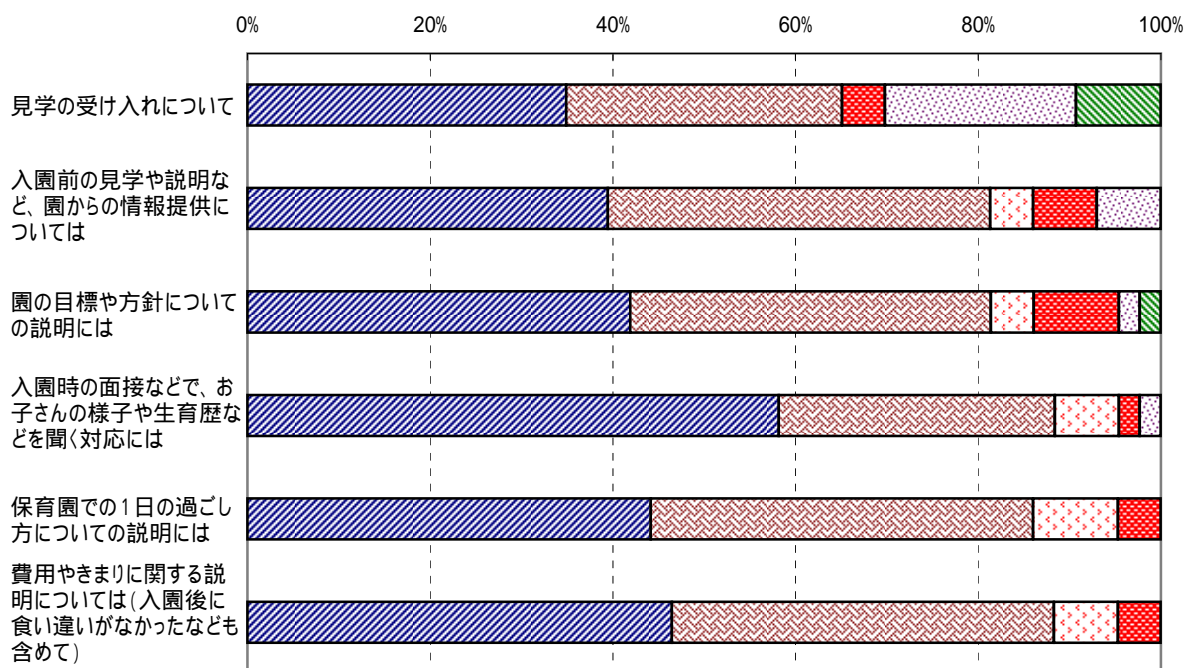
問2 入園時の状況について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れについて	34.9	30.2	0.0	4.7	20.9	9.3	100
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	39.5	41.9	4.7	7.0	7.0	0.0	100
園の目標や方針についての説明には	41.9	39.5	4.7	9.3	2.3	2.3	100
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	58.1	30.2	7.0	2.3	2.3	0.0	100
保育園での1日の過ごし方についての説明には	44.2	41.9	9.3	4.7	0.0	0.0	100
費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったなども含めて)	46.5	41.9	7.0	4.7	0.0	0.0	100

入園時の状況について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



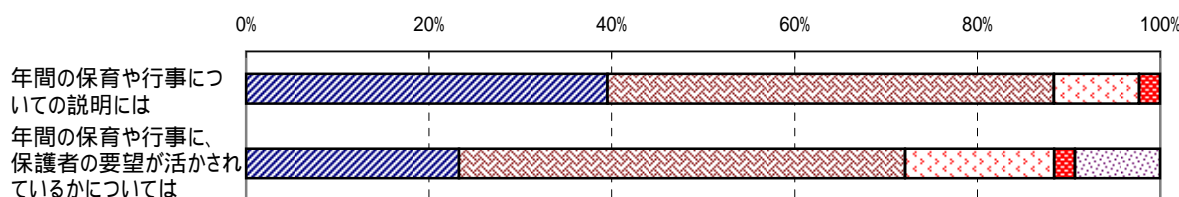
問3 年間の計画について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事についての説明には	39.5	48.8	9.3	2.3	0.0	0.0	100
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	23.3	48.8	16.3	2.3	9.3	0.0	100

年間の計画について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



問4 日常の保育内容について

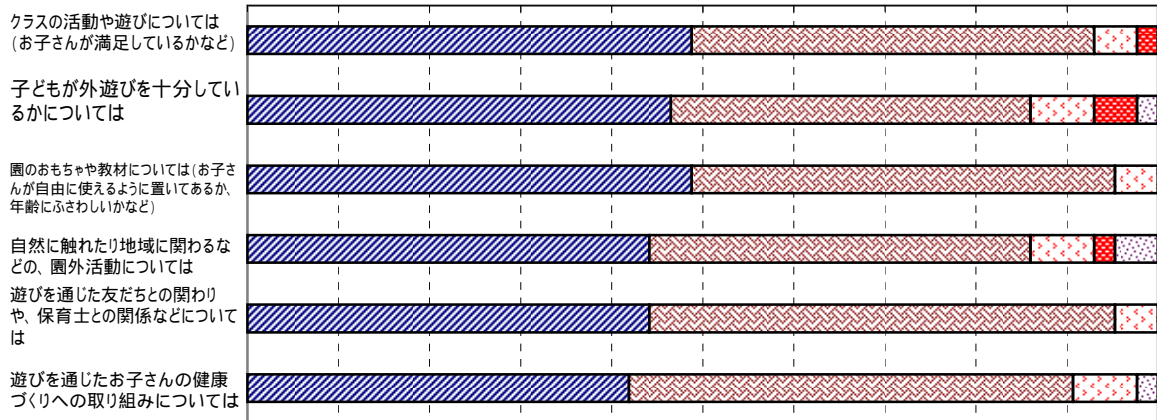
(%)

「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
クラスの活動や遊びについては(お子さんが満足しているかなど)	48.8	44.2	4.7	2.3	0.0	0.0	100
子どもが外遊びを十分しているかについては	46.5	39.5	7.0	4.7	2.3	0.0	100
園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	48.8	46.5	4.7	0.0	0.0	0.0	100
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	44.2	41.9	7.0	2.3	4.7	0.0	100
遊びを通じた友だちとの関わりや、保育士との関係などについては	44.2	51.2	4.7	0.0	0.0	0.0	100
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	41.9	48.8	7.0	0.0	2.3	0.0	100

日常の保育内容「遊び」について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



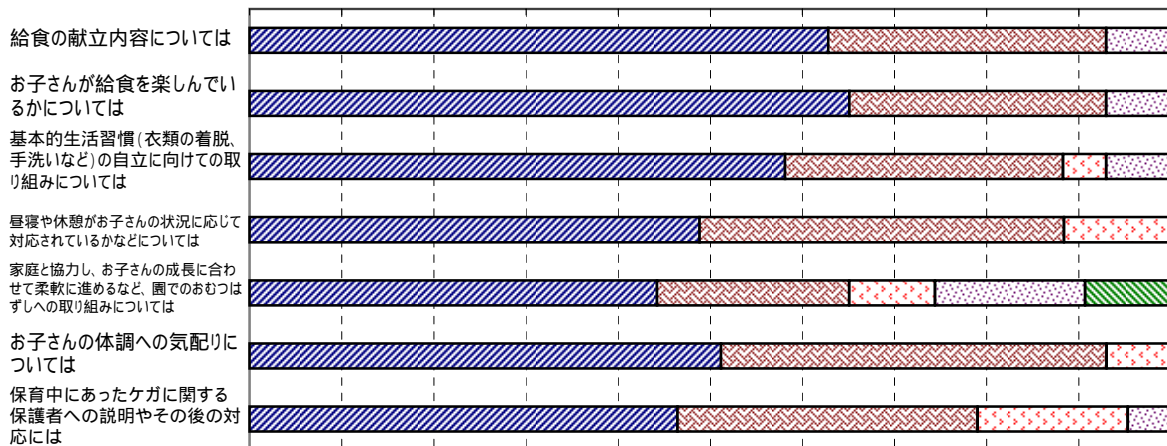
(%)

「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食の献立内容については	62.8	30.2	0.0	0.0	7.0	0.0	100
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	65.1	27.9	0.0	0.0	7.0	0.0	100
基本的な生活習慣(衣類の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	58.1	30.2	4.7	0.0	7.0	0.0	100
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	48.8	39.5	11.6	0.0	0.0	0.0	100
家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めるなど、園でのおむつはずしへの取り組みについては	44.2	20.9	9.3	0.0	16.3	9.3	100
お子さんの体調への気配りについては	51.2	41.9	7.0	0.0	0.0	0.0	100
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	46.5	32.6	16.3	0.0	4.7	0.0	100

日常の保育内容「生活」について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



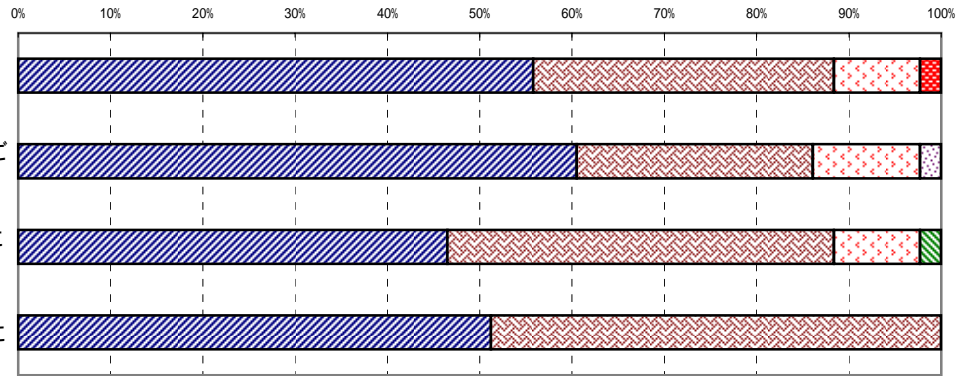
問5 快適さや安全対策などについて

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	55.8	32.6	9.3	2.3	0.0	0.0	100
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	60.5	25.6	11.6	0.0	2.3	0.0	100
外部からの不審者侵入に対する備えについては	46.5	41.9	9.3	0.0	0.0	2.3	100
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	51.2	48.8	0.0	0.0	0.0	0.0	100

快適さや安全対策などについて

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答



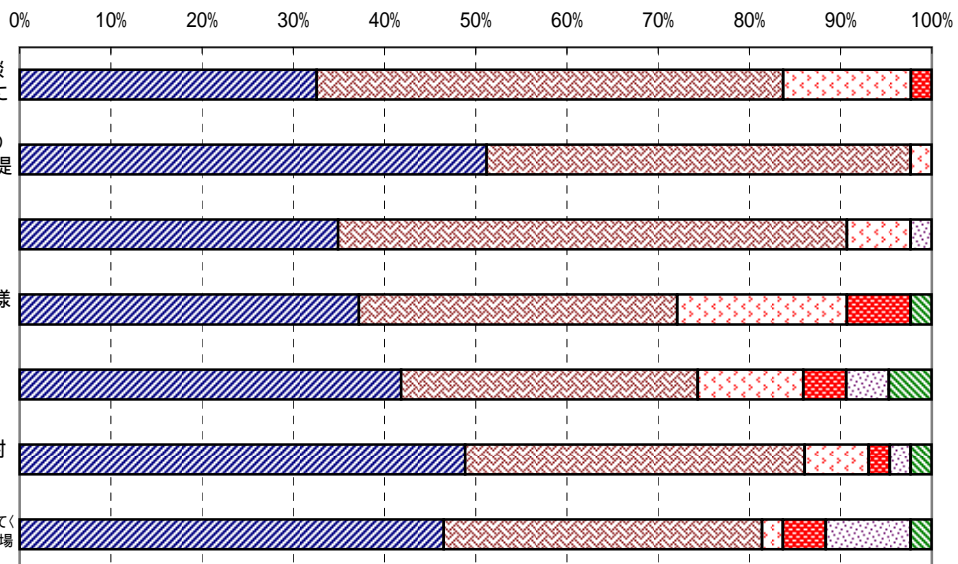
問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	32.6	51.2	14.0	2.3	0.0	0.0	100
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	51.2	46.5	2.3	0.0	0.0	0.0	100
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	34.9	55.8	7.0	0.0	2.3	0.0	100
送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明については	37.2	34.9	18.6	7.0	0.0	2.3	100
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	41.9	32.6	11.6	4.7	4.7	4.7	100
保護者からの相談事への対応には	48.8	37.2	7.0	2.3	2.3	2.3	100
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	46.5	34.9	2.3	4.7	9.3	2.3	100

園と保護者との連携・交流について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答



問7 職員の対応について

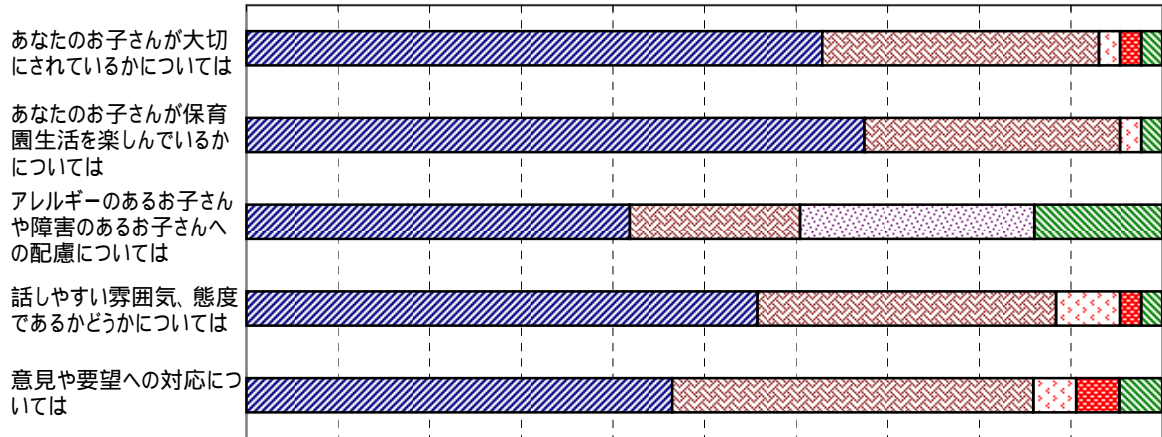
(%)

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	62.8	30.2	2.3	2.3	0.0	2.3	100
あなたのお子さんが保育園生活を楽しくしているかについては	67.4	27.9	2.3	0.0	0.0	2.3	100
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	41.9	18.6	0.0	0.0	25.6	14.0	100
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	55.8	32.6	7.0	2.3	0.0	2.3	100
意見や要望への対応については	46.5	39.5	4.7	4.7	0.0	4.7	100

職員の対応について

■満足 ■どちらかといえは満足 ■どちらかといえは不満 ■不満 ■その他 ■無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

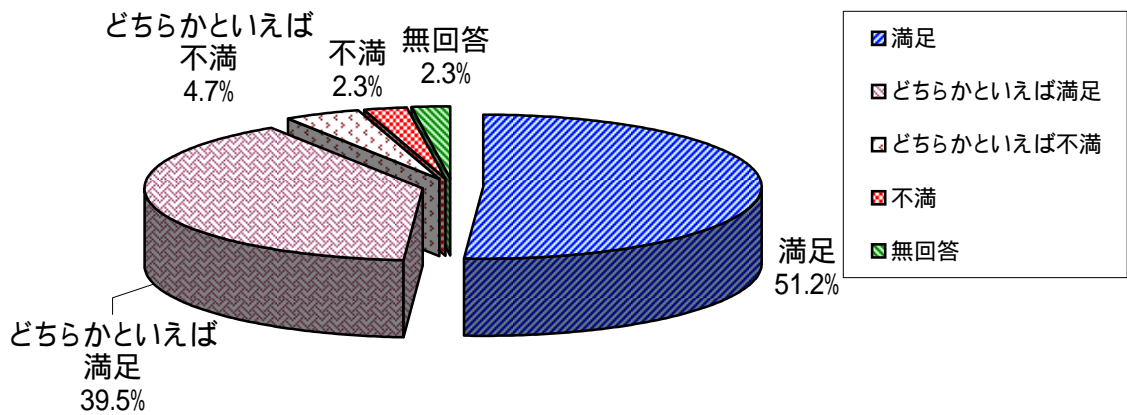


問8 保育園を総合的に評価すると

(%)

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	無回答	計
総合満足度は	51.2	39.5	4.7	2.3	2.3	100

総合満足度



利用者（園児）本人調査分析

観察調査 6月11日（月） 9:15～13:30（13:30～18:00の間も断続的に実施）

6月19日（火） 8:20～13:00（13:00～17:30の間も断続的に実施）

観察中、5歳以上の園児を中心に適宜聞き取りを行いました。

1. 遊びについて

観察第1日目、幼児クラスは、近隣にある系列の明神台保育園や近くの小学校との合同で、保土ヶ谷公園のプール清掃前に行われる「ヤゴ救出作戦」に参加しました。

5歳児クラスでは、出発前に、これまで飼っていたかたつむりを公園に放してあげてはどうかを話し合い、「もっと飼っていたい」「もう放してもよい」といくつか意見がありましたが、最後には、全員一致で逃がすことになりました。

公園までは、楽しそうにおしゃべりをしています。列は乱れることはなく、前と間隔が開くと、子どもたち自身が「開いてる」と言いながらつめています。途中、アジサイ等を見ながら、「この間よりも良く咲いているね」などと保育士と話しています。

公園に着くと、プール担当者から、ヤゴの取りかたや飼い方の注意があり、子どもたちはみんな真剣に聞いています。プールの中から、係員がプールの中からすくってくれた落ち葉をかき分け、ヤゴを採りペットボトルへ入れます。ヤゴをつかむのが怖くてできない子も、先生に手伝ってもらい、最後は自分でつかめるようになっていました。

3、4歳児は遅れて出発しました。こちらは、目的地近くの石段の下まで来ると、疲れも出てきて全体にペースが遅くなって個人差もあり、自然には関心を示す余裕はありませんでした。

広場で、ヤゴ採りを終えた5歳児も3、4歳児と合流し、明神台の園児と一緒にフォークダンスの「キンダーポルカ」を踊りました。ちょっと難しいパートナー交代も子どもたちはすぐ覚え、音楽に合わせて、先生たちも加わって楽しそうに踊っています。最初は、他園の子と踊るのに緊張していた3歳児も、踊り終わった後は笑顔が見られました。

その後シートを広げお弁当を食べ、食べ終わった子から、お尻と手を泥んこにして崖の上り下りをしたり、モグラの穴、いとミミズを発見して歓声をあげ生き生きと遊んでいます。

帰り道は、3歳児は4、5歳児と手をつなぎ、一緒に園まで戻りました。「守ってあげる側は、どっち側を歩くか考えて」と保育士から何回か注意を受けましたが、道の危険な方を年長児が歩き、車道側が入れ替わると、自然に子どもたちは位置を変えています。

乳児クラスのお散歩は、すぐそばにあるビジネスパークや団地の公園などで、小さな子向けの遊具や広場で遊びます。行き帰りには、川の亀やカモを眺めたり、ダンゴムシやアリを探し、電車が通ると、歩道に座り込んで眺めたり、たっぴりと時間をかけて散歩を楽しんでいます。

園庭は広くはありませんが、子どもたちは、砂遊びや、色水遊び、シャボン玉など、汚れることを気にせず、思い切り楽しんでいます。暑かった観察2日目には、裸足やパンツ1枚の子どももいました。

屋上は、緑化され、今は、クローバー畑となり、子どもたちが思い切り走り回れる場所となっています。

園舎2階の広いホールには、天窗のある壁側にクライムネット（ロープを網状に組んだもの）がかけられ、滑り台のついた遊具と大きなキッチンセットもあり、真ん中では、車の乗り物を使うこともできます。自由遊びの時間には、子どもたちは思い思いに好きなどころで、十分に遊び込んでいます。

保育室内には、子どもたちそれぞれの発達に応じたブロックや積み木が用意され、それぞれ決まったスペースで遊んでいます。特に幼児クラスでは、どの部屋も押し入れの下スペースが居心地の良い空間になっていて、人気の場所となっています。

どのクラスも、遊んだ後はきちんと片付け、保育室もおもちゃもつねにきれいな状態が保たれています。

2．食事について

観察1日目は、幼児クラスは公園でお弁当を食べました。乳児クラスも部屋の外に出て、ホールやテラスで食事を楽しみました。

好き嫌いは少なく、どのクラスもおかわりする子どもが多く、よく食べています。嫌いな物は、小さく切ってもらったり、好きな物と混ぜて食べたりなど、少しでも食べるように保育士に促されると素直に挑戦しています。食べきれない子どもは、保育士と「これだけ食べよう」と決めて、食べきると「ぴかぴかになった」と満足している様子です。

食べ終わる時間の目安を時計で示しますが、時間で終わらせることはなく、食べる意欲のある子どもは、最後まで食べています。

3．排泄について

0歳児は、一人ひとりの状況に合わせておむつを替え、1、2歳児は、おむつを替える時に、できない子もトイレにすわるようにしています。おむつにうんちをしたときには、シャワーできれいにしてもらいます。2歳児クラスでは、遊んでいる途中、莫塵の上でお漏らしをしてしまった子がいました。すぐ先生に抱えられてトイレに急行し、子どもは、悪びれず「おしっこでちゃったね」というと、保育士も「ちょっと間に合わなかったね」と会話しながら、着替え等が済むと、駆け足で元気に遊び場に戻っていました。

幼児クラスのトイレには、扉のあるトイレもあり、子どもたちは自分の好きな方を選べます。トイレの後には、みんな手を洗い、自分のタオルで拭いています。

4．清潔・健康について

子どもたちは、乳児のクラスでも、遊んだ後におもちゃを片付けることが良く身についています。採光と通風に配慮された園舎で、温度・湿度共に良く管理されています。子どもたちは、保育士がてきぱきと片付け清潔に保たれた環境の中で過ごしています。

思い切り、遊んだあとは、乳児クラスはシャワールームで、幼児クラスはテラスで、それぞれ温水シャワーを使って、保育士に汗や汚れをきれいにしてもらいます。

少し具合の悪い子どもは、乳児は、保育士が子どもの遊んでいる様子を見たり、抱っこした感じで熱を測ったりしますが、幼児は、保育士から促されて、水遊びなどで濡れないようにしたり、上着をきるなど、子ども自身も気をつけています。

5．いやな思いへの対応や権利を守ることについて

保育士は、子どもたちを呼ぶ時は、「～ちゃん」や「～君を」と呼んでいます。

幼児クラスの子どもたちは、自分のしたいことを、保育士に伝えることができます。友だちから、嫌なことをされたときには、はっきりと「やらないで」と相手に伝えたり、保育士に、嫌な思いを伝えることができ、相談された保育士は、しっかりと聞き取り、すぐに対応をしてくれます。

けんかが始まると保育士が間に入り、「自分がそのようにされたら、どんな気持ちがする？」と言って注意をしたり、両方から話を聞き、子ども同士で仲直りするように支援しています。

6．職員について

保育士は、叱るときには、穏やかな口調で視線をあわせ、注意をしているときでも語尾ではしっかりと抱きしめているというような丁寧な対応をしています。片付けなどを促すときにも、保育士は「こうして欲しいな」というような調子で声かけをし、子どもたちの自主性を尊重しています。

主任を含め先生方のチームワークが良くとれ、指導も一貫しています。

まとめ

子どもたちは、整った環境の中で、素直で伸び伸びと過ごしています。お話しや絵本などを集中して聞くことができ、たくさん取り入れられる野菜作りや食育などの体験にも積極的に参加しています。

保育士は、教えるのではなく、子どもと同じ視線で一緒に遊んだり、ゲームに取り組み、さりげなく見本を見せて、子どもたちが自主的に活動できるように支援しています。

また、創設間もない園であり、職員の園創りへの意欲が一つにまとまっている様子が見えました。

事業者コメント

当保育園は、同じ保土ヶ谷区内の明神台保育園（昭和 37 年開園）の姉妹園として、平成 18 年 4 月に開園したのですが、職員の半数は同園からの異動によるもので、ほぼ同じ内容の保育を進めています。この際、今までの保育の進め方について、第三者の評価を受けてみたいという思いと、新人職員も多く採用しており、早期に様々な指摘を受けたほうがより有効ではないかという思いから、第三者評価を受審することとしました。

そして、いざ受審ということになると、今まで現場で当然にあるいは問題なくやっている事も、評価の観点からの考え方や理念も含めて整理するととなると、改めて考え直されることが多く、書類整理も含めると、意外に多くの労力が要るということを実感しました。

しかし、第三者評価を受けるに当たって、全職員が数度（担当保育士は更に多くの回数）にわたり評価の視点や考え方を学んだこと、そして今やっている事を見直したことは、当園にとって大きな収穫だったと考えます。

更に、今回、具体的に指摘して頂いたこと（地域住民との定期的計画的な交流、保護者とのコミュニケーションの取り方の改善、ボランティアの受け入れ、人材育成計画、中長期計画の策定など）は、今後その改善に取り組む過程の中で、当園の質の向上に向けて、大きな効果をもたらすものと考えます。

また、利用者家族アンケート調査では、多くの項目について、かなり高い評価を頂いていることには、大変感謝しております。気を緩めることなく、良い面を更に伸ばしていく努力をまいります。そして、園への要望事項としてご指摘頂いた点につきましては、できるだけ保護者との接点を見出すよう努力してまいります。

さて、時代の趨勢の中で、保育の世界もより厳しくなり、「補助金の見直し(削減)」の一方で「保育所の役割の拡充、保育の質の向上」が求められています。これらのことは、当たり前と言えば当たり前の話ですが、現場では保育士の質の向上と職員の処遇改善とのバランスをどう図るのか、社会福祉法人としての社会的責務を認識した上で、財政的にも大変厳しい時代的背景も承知しつつ、子どもを安心して健全にどう育てるのかを基本に、広範なそして深い議論を更に重ねる中で、より良い政策的判断が求められていると考えています。

～ 評価結果は、下記のウェブサイトからも見るすることができます ～

市民セクターよこはまの第三者評価のページ

<http://www.shimin-sector.jp/hyouka/>

横浜市(健康福祉局)の福祉サービス第三者評価のページ

<http://cgi.city.yokohama.jp/kenkou/jigyousyajoho/hyoukaall.cgi>

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構のページ

<http://www.rakuraku.or.jp/hyouka/>

特定非営利活動法人



特定非営利活動法人

市民セクターよこはま 評価事業部

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第4号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第4号

〒231-0001 横浜市中区新港 2-2-1 横浜ワールドポーターズ 6F NPO スクエア

TEL:045-222-2023

FAX:045-222-2024

<http://www.shimin-sector.jp>
